

令和4年度 事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に係る出入国制限については世界的に緩和の動きが加速し、日本入国時の水際対策や各種行動規制の緩和等により国内の経済活動も徐々に正常化に向かい始めました。

当期における成田空港の運用状況は、航空機発着回数は国際線が前年度比21%増の125,482回、国内線が同54%増の52,355回、全体では同29%増の177,837回となりました。航空旅客数は、国際線が同478%増の13,560千人、国内線が同69%増の6,957千人、全体では同217%増の20,517千人となりました。

令和4年度の旅客数をコロナ禍前の令和元年度(2019年度)と比較すると、国際線旅客数は40%、国内線は93%の水準まで戻っており、着実に回復しつつあります。

このような状況の下、旅客関連の受託業務では、旅客数の増加に伴い期中において仕様見直しによるスタッフの増員が必要な状況となったため、夏頃より採用活動を開始した他、収益事業の再開なども視野に必要な人材の確保に努めました。また、インバウンド需要の急速な回復など空港をとりまく環境の変化に的確に対応しながら、可能な限りの業務効率化や収益向上、コスト削減に努め、各事業・施策を着実に遂行しました。

公益事業では、外国人旅客を対象とした空港周辺ツアーなど再開にまだ期間を要すものや、新規開催を計画したものの参加校が集まらず開催を断念したイベントがあった一方で、小学生を対象とした野球大会やサッカー大会を開催しました。また、英語スピーチコンテストについては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、一次審査は動画提出により行ない、最終審査は市内のホールで行うなど、これまでの実施方法を大幅に見直した上で3年ぶりに開催しました。さらに、保育ルームたんぽぽの運営については、引続きコロナ感染防止対策に細心の注意を払いながらも、できるだけ保護者が参加できるような親子遠足や公営体育館での運動会など各種の行事を再開し、今年度も休園することなく運営を継続しました。

受託・収益事業では、環境業務において、サステナブルNRT2050及び空港脱炭素化等の推進に関する算定・分析業務を当初の予定より内容を拡充して実施した他、予定されていた調査業務や保全業務を滞りなく実施しました。旅客対応の業務においては、令和4年10月の入国規制緩和に伴う国際線旅客の増加にあわせた旅客案内スタッフの配置変更(増員)や第2旅客ターミナル(サテライト)リフレッシュルームの12月再開などの対応を行いました。また、休止中の自主店舗である手荷物一時預かり所については、スタッフの採用及び研修を行うなど次年度からの再開に向け必要な準備を行いました。

第1 事業概要

1. 空港利用者の便益増進に関する事業

(1) 日本文化紹介体験事業

① 日本文化紹介体験イベント

日本文化の紹介体験イベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、国際線旅客の回復の見通しが限定的であったことから引き続き休止となりました。

② 空港周辺ツアー

成田空港トランジット&ステイプログラム連絡会が実施する空港周辺ツアーについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア同行型ツアーを休止しました。ツアー休止に伴い海外に向けて SNS (Facebook) で同ツアーの魅力発信業務を行いました。ボランティアに対しては、モチベーション維持を図るために成田空港の到着情報や空港周辺市町の情報の配信業務を行うとともに、ボランティアガイドの資質向上を目的としたオンラインセミナーを実施しました。

2. 空港と空港関係地域社会との調和促進に関する事業

(1) スポーツ大会開催事業

スポーツ大会開催事業のうち、小学生を対象とした野球大会（第21回）を4月、サッカー大会（第28回）を7月に開催しました。

なお、中学生を対象としたバレーボール大会については、開催を計画しておりましたが、屋内競技であり、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたことから開催を見送りました。

また、新規のスポーツ大会として計画しておりました空港周辺南側地域を開催地とする高校生を対象としたバスケットボール大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加校が開催可能校数に達しなかったことから開催を見送ることとしました。

(2) 英語スピーチコンテスト

中学生を対象とした英語スピーチコンテストについては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、一次審査は動画提出により行ない、最終審査は市内のホールで行うなど、これまでの実施方法を大幅に見直し開催しました。

(3) 職場体験受入事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、当協会が実施する旅客案内業務体験への申し込みはありませんでした。

(4) その他の事業

空港見学会、地域貢献事業、空港内イベント AIRPORT MARKET 「空市-soraichi-」については、令和4年度も新型コロナウイルス感染防止の観点やイベント開催にあたっての関係各所との調整を踏まえ中止しました。

3. 空港に係る広報活動に関する事業

(1) エアポートニュース発行事業

成田空港の運用状況及び空港に関する諸情報を内容とした「NARITA AIRPORT NEWS」については、コロナ禍の影響を受け、令和2年度より、紙面を大幅に削減し、発行を続けてまいりましたが、情報収集手段の多様化等による環境変化などを踏まえ、令和4年(2022年)5月号をもって月刊発行を休刊し、新年号のみの発行としました。なお、新年号については空港関連事業者の年頭の挨拶を掲載し発行しました。(発行部数 2,140部)

(2) 空港業務紹介事業

学生等の進路選択時や一般社会人の転職に際し、空港関連企業を就職先とする動機づけを目的として、空港の仕事の中で深刻な人材不足問題を抱えているグランドハンドリング業務と保安検査業務の仕事を紹介する動画を作成し、SNS等の媒体を利用して配信を行いました。

4. 空港に係る調査研究に関する事業

空港環境に関する調査研究事業として以下を実施しました。

(1) 航空機騒音の影響に関する研究

① 日本音響学会 騒音・振動研究委員会 (発表)

「騒音観測結果に基づく航空機着陸時のリバース・スラストの分析」

(2) 航空環境調査に関する協力

① 航空機騒音監視評価委員 (成田空港周辺地域共生財団)

② 航空機からの落下物・部品脱落等の予防に関する調査研究WG委員 (航空輸送技術センター)

③ 共同研究1件

(3) その他

① 日本騒音制御工学会 理事・編集部会

② 日本音響学会 2022年秋季研究発表会

③ 日本騒音制御工学会 2022年秋季研究発表会

④ 大気環境学会関東支部・粒子状物質部会

5. 空港従事者の資質向上等に関する事業

(1) 保育ルーム運営事業

空港内において「NAA 保育ルームたんぼぼ」を通年運営しました。

運営状況については、新型コロナウイルス感染拡大の影響による利用者の復職時期の遅れや休業の長期化、また転園者の増加等により、令和5年3月末時点の月極保育児童数は、69名(0歳児7名、1歳児10名、2歳児7名、3歳児17名、4歳児12名、5歳児16名)となり、前年同期比で約13%児童数が減少しました。(令和4年3月末の児童数79名)

日々の活動については、保護者の気持ちに配慮し、感染対策を十分に施した上で、できるだけ保護者が参加できるような親子遠足や公営体育館での運動会を実施する等、各種の行事を再開しました。

生活面においては、英語あそびや体育教室を再開し、また食育や多文化理解教育、牛乳パックを再利用した装飾の製作、みかんの収穫体験等、日々の活動を通してSDGsを学べるような取り組みを行いました。

(2) その他の事業

空港従事者の資質向上等に関する事業として実施しておりました講演会、テニス大会、語学教室については、新型コロナウイルス感染防止の観点やイベント開催にあたっての関係各所との調整を踏まえ中止しました。

6. 委託を受けて空港の管理業務の一部を行う事業

(1) 環境業務

① 統合環境監視システム運用業務

NAA 航空機騒音監視システム、大気質常時監視システム、水質・地下水位自動観測システムの運用及び保守点検業務を実施しました。

② 航空機騒音に関する調査解析業務

NAA 及び空港周辺市町等から受注した空港周辺の航空機騒音実態調査、航空機に関する各種調査並びに解析業務を実施しました。

③ 空港周辺の大気質に関する調査解析業務

NAA 及び成田市から受注した空港周辺の大気質に関する調査及び解析業務を実施しました。

④ 空港周辺の水質に関する調査解析業務

NAA から受注した空港周辺の水質に関する調査及び解析業務を実施しました。

⑤ 2050年カーボンニュートラルに関する業務

NAA から受注したサステナブルNRT2050及び空港脱炭素化等の推進に関する算定・分析業務を当初の予定より内容を拡充して実施しました。

⑥ 自然環境保全に関する生物保全業務

NAA から受注した環境影響評価手続きに関する生物の保全業務を実施しました。

⑦ 航空機落下物防止に関する業務

NAA から受注した氷塊付着状況、部品欠落に係る業務を実施しました。

⑧ その他の調査業務

航空機騒音格付け確認、エンジン試運転低周波音、ヘリコプター騒音、住宅遮音効果、外来植物除去等の業務を実施しました。

(2) 旅客案内業務

NAA から受注した第 1 旅客ターミナルビル南棟における旅客案内業務は、運用時間や人員配置等体制が回復傾向にあり、コロナ対策を徹底しながら予定通り事業を実施しました。なお、令和 4 年 10 月の水際対策緩和以降、旅客数の増加により要員配置数が増加したため、適時人員を増やして対応しました。

- ・旅客案内業務はポジション数及び配置人数を 10 月以降段階的に増加
- ・電動カート運用業務は 10 月より再開(出発動線のみ)

なお、ファーストレーン案内業務、ワンストップセキュリティー利用者への案内業務については引き続き運用を休止しました。

(3) 旅客サービス施設運営業務

NAA から受注した旅客サービス施設運営業務について、施設の運用時間や人員配置等体制が回復傾向にあり、コロナ対策を徹底しながら予定通り事業を実施しました。

- ・第 2 旅客ターミナル (サテライト) リフレッシュルームは 12 月に再開

(4) その他の業務

① 「成田空港公式ガイド」の編集

NAA から受注した「成田空港フロアガイド」の編集業務については、新型コロナウイルス感染症に伴う旅客数の減少によりフロアガイドの発行が年 1 回 (10 月) となったことから編集業務を縮小して実施したほか、在庫管理および納品作業を実施しました。

② 「成田空港ハンドブック」の発行

休刊していた成田空港の諸情報を内容とした「成田空港ハンドブック」(NAA 監修) については、掲載内容を見直し、令和 4 年度 (2022 年度) 版を 11 月に発行しました。

③ 談話室の運営

入室制限を行う等コロナ対策を徹底しながら運営を実施しました。なお、令和 5 年 3 月 13 日以降マスク着用の考え方が見直されたことに伴い、3 月 15 日より席数を 8 席から 19 席に変更し営業しました。

④ 海外主要空港の概要作成

NAA から受注した海外主要空港の情報収集、翻訳、編集等の業務を行う空港概要作成業務を実施しました。なお、平成 29 年度より受注している本業務については、令和 4 年度をもって終了しました。

⑤ 書道・絵画展作品整理作業

NAA から受注した成田空港周辺児童書道・絵画展の応募作品の集計、整理や展示場の設営作業を実施しました。

応募学校数は 77 校、応募作品数は 11,389 点となりました（令和 3 年度 応募学校数 77 校、応募作品数 11,767 点）なお、受賞者に対する表彰式は市内のホテルで行われました。

⑥ 案内ボランティア事務局業務

新型コロナウイルス感染拡大に伴う旅客数の減少により、NAA から受注した案内ボランティア管理業務について規模を縮小して実施しました。なお、成田空港案内ボランティアについては引き続き活動を休止しました。

⑧ CS 推進に係る業務

NAA が実施する CS セミナーの運営等、CS 推進に係る業務について、新型コロナウイルス感染症の影響により、運營業務の発注はありませんでした。

⑨ ロビー椅子マーキング等維持管理作業

NAA から受注した新型コロナウイルス感染拡大防止を目的としたソーシャルディスタンス啓蒙にかかる施工の維持管理作業について、第 1・2・3 旅客ターミナルビル的一般エリアおよび制限エリアを巡回し、ロビー椅子、展望デッキ、トイレ、喫煙所に施工されているソーシャルディスタンスシールの不具合箇所の張替え作業を実施しました。

なお 2 月以降は、NAA からの指示を受けて第 1・2・3 旅客ターミナルビルのディスタンスシールの廃棄作業を実施しました。

⑨ 喫煙所における利用実態調査

NAA から受注した喫煙所における利用実態調査について、空港内の喫煙所のうち指定した 15 カ所において利用状況および利用者属性等の調査を実施しました。

⑩ レイアウト表、数量表、更新作業

NAA から受注したレイアウト表、数量表の更新作業について、第 1・2・3 旅客ターミナルビルのロビー椅子、ゴミ箱の設置箇所を現地確認し、既存のレイアウト表および数量表の更新作業を実施しました。

⑪ 空港見学ツアーに係るガイド業務

GPA から受注した空港見学ツアーにおけるガイド業務を実施しました。

・年間実施回数 29 回 ガイド 43 名

⑫ パンフレット等の補充管理業務

パンフレット等の補充管理業務について、NAA から受注はありませんでした。

⑪ 空港内従業員実態調査

NAA が発注する従業員実態調査業務について、調査票の配布、回収、とりまとめ作業等を実施しました。

7. その他協会の目的を達成するために必要な事業

(1) 受託業務等

他空港の騒音実態調査や騒音予測作業の受託契約を複数実施しました。

主な受託業務は以下のとおりです。

- ・騒音予測モデルに係る作業
- ・地方空港等騒音実態調査作業
- ・騒音予測 L_{den} コンター作成
- ・機体騒音低減技術調査

(2) 手荷物一時預かり事業

新型コロナウイルス感染拡大に伴う旅客数の減少により、令和3年9月9日から店舗の運営を休止していましたが、令和5年4月1日の店舗再開に向けて人員の確保を含め準備作業を実施しました。

なお、コインロッカーについては、令和5年4月1日より株式会社グリーンポート・エージェンシーが第1、第3ターミナルで行っていたコインロッカー事業の譲渡を受けることとなったため、引継ぎが滞りなく行えるよう準備作業を進めました。

以上

第2 庶務事項

1. 評議員会・理事会

(1) 第33回理事会（通常） 令和4年6月9日開催

- 第1号議案 令和3年度事業報告承認の件
- 第2号議案 令和3年度決算承認の件
- 第3号議案 公益目的支出計画実施報告書の承認の件
- 第4号議案 規程制定等承認の件
(内部通報に関する規程の新規制定・経理規程の改正)
- 第5号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項承認の件
- 報告事項 職務の執行状況報告の件

以上5議案について審議決定されました。

(2) 第15回評議員会（定時） 令和4年6月29日開催

- 報告事項1 令和3年度事業報告書の内容報告の件
- 第1号議案 令和3年度決算承認の件
- 報告事項2 公益目的支出計画実施報告書の内容報告の件
- 報告事項3 令和4年度事業計画書及び予算書の内容報告の件
- 第2号議案 理事選任の件
- 第3号議案 監事選任の件

以上3議案について審議決定されました。

(3) 第34回理事会（臨時・書面決議） 令和5年2月13日決議

- 提案事項 理事が代表取締役を務める株式会社グリーンポート・エージェンシーとの取引承認について

以上提案について決議されました。

(4) 第35回理事会（通常） 令和5年3月30日開催

- 報告事項 職務の執行状況報告の件
- 第1号議案 令和5年度事業計画承認の件
- 第2号議案 令和5年度予算承認の件
- 第3号議案 規程改正承認の件
(給与規程の改正)

以上3議案について審議決定されました。

2. 役員等

(1) 評議員 令和5年3月31日現在

評議員	大森 寿明	元 日本ホテル(株) 会長
評議員	斉田 正己	元 成田国際空港(株) 代表取締役副社長
評議員	佐久間 勇	(一財)芝山町振興公社 理事長
評議員	関 恒明	成田国際空港(株) 取締役
評議員	関根 賢次	成田市 副市長
評議員	坪川 誠	元 (財)成田国際空港振興協会 理事長
評議員	永井 隆男	元 新東京国際空港公団 副総裁
評議員	中留 恵孝	元 (株)成田エアポートテクノ 代表取締役社長

(五十音順)

(2) 理事及び監事 令和5年3月31日現在

代表理事	深谷 憲一	(一財)成田国際空港振興協会 会長
代表理事	川島 栄治	(一財)成田国際空港振興協会 理事長
業務執行理事	松本 英樹	(一財)成田国際空港振興協会 常務理事
理事	岩崎 俊一	(一財)空港振興・環境整備支援機構 副理事長
理事	延命 誠	京成電鉄(株) 鉄道本部運輸部長
理事	岡 功士	全日本空輸(株) 執行役員成田空港支店長 兼 ANA成田エアポートサービス(株) 代表取締役社長
理事	大八木 淳子	日本航空(株) 成田空港支店長
理事	亀井 繁幸	成田国際空港 航空会社運営協議会 事務局長
理事	佐藤 育哉	成田国際空港(株) 経営企画部門 関連事業部長
理事	志村 格	(一社)日本旅行業協会 理事長
理事	濱田 達也	(株)グリーンポート・エージェンシー 代表取締役会長兼社長
監事	土屋 伸一	成田国際空港(株) 財務部門 財務部長
監事	橋本 勝	元(株)グリーンポート・エージェンシー 代表取締役社長

(理事・監事 五十音順)

3. 基本財産

令和4年度末現在 20,000千円

4. 事務局

(1) 事務所

千葉県成田市古込字古込1番地1
(成田空港内第2駐車場ビル南棟P3028)

(2) 職員数 (令和5年3月31日現在)

①総務部	6人
②公益推進部	5人
③環境技術部	21人
④旅客事業部	45人
⑤出向・育児休業者等	20人
合計	97人 (役員を除く)